



## 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月12日

上場会社名 株式会社レントラックス  
 コード番号 6045 URL <https://www.rentracks.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 山崎 大輔  
 (氏名) 梶尾 幸介  
 TEL 03-3878-4159

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	748	22.0	257	12.4	259	13.2	170	11.2
2022年3月期第1四半期	613		228	216.4	229	233.2	153	309.1

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 207百万円 (130.5%) 2022年3月期第1四半期 158百万円 (240.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	21.69	21.69
2022年3月期第1四半期	19.47	19.47

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	6,453	2,821	43.7
2022年3月期	6,250	2,692	43.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 2,819百万円 2022年3月期 2,690百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		10.00	10.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,361	18.4	440	8.6	435	8.0	284	6.2	36.05
通期	2,846	15.9	901	13.5	891	11.3	529	20.6	67.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	7,975,800 株	2022年3月期	7,975,800 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	119,643 株	2022年3月期	117,343 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	7,857,380 株	2022年3月期1Q	7,875,457 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(会計方針の変更に関する注記) .....	5
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループでは、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を前第1四半期会計期間の期首から適用しており、売上高、該当するセグメント別の売上高については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年6月30日)におけるわが国の経済は、一時は新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着きを見せ、経済正常化の流れが進みつつあったものの、オミクロン株の発生により様々な活動が再制限され、更にはロシアによるウクライナ侵攻をはじめとする地政学リスクの顕在化や世界的な原材料価格の高騰等が重なり、景況感は悪化いたしました。

このような経済状況のもと、株式会社電通グループの「2021年日本の広告費」によれば、2021年の日本の総広告費は6兆7,998億円と、前年比110.4%と大きく回復しました。中でも当社グループが属するインターネット広告市場においては、インターネット広告媒体費が2兆1,571億円(前年比122.8%)と継続して高い成長率を保っております。

当社グループでは、主力の成果報酬型広告サービス事業において、金融、自動車買取、引越、エステ、転職求人、土業、不動産関連など既存の各ジャンルにおける広告主様への注力を継続するとともに、物販等のその他新規分野の広告主様に対して営業の強化を図り、また広告掲載媒体運営者様に対して、より一層の連携強化に努めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高748,304千円(前年同四半期比122.0%)、営業利益257,280千円(同112.4%)、経常利益259,786千円(同113.2%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は170,462千円(同111.2%)となりました。

セグメント別の売上高は、成果報酬型広告サービス事業が440,852千円(前年同四半期比108.1%)、検索連動型広告代行業が33,495千円(同351.4%)、中古建設機械マーケットプレイス関連事業が196,107千円(同190.5%)、その他の事業が77,850千円(同83.7%)となっております。また、セグメント利益は、成果報酬型広告サービス事業が440,852千円(同108.1%)、検索連動型広告代行業が33,495千円(同351.4%)、中古建設機械マーケットプレイス関連事業が25,125千円(同105.5%)、その他の事業が47,540千円(同80.2%)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は6,453,516千円となり、前連結会計年度末と比較して203,015千円の増加となりました。これは、売掛金が66,973千円、商品及び製品が59,667千円、前払費用が75,382千円増加したこと、現金及び預金が54,624千円減少したことが主な要因であります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は3,632,280千円となり、前連結会計年度末と比較して74,199千円の増加となりました。これは、買掛金が112,916千円、短期借入金が67,190千円、長期借入金が42,660千円増加したこと、未払法人税等が142,258千円減少したことが主な要因であります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は2,821,235千円となり、前連結会計年度末と比較して128,815千円の増加となりました。これは、利益剰余金が93,320千円増加したことが主な要因であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月16日の「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予測に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,668,084	2,613,460
売掛金	2,398,777	2,465,750
商品及び製品	167,233	226,901
原材料及び貯蔵品	642	538
前払費用	223,472	298,855
その他	237,171	249,389
貸倒引当金	△1,740	—
流動資産合計	5,693,640	5,854,894
固定資産		
有形固定資産	5,451	4,306
無形固定資産		
その他	8,209	3,133
無形固定資産合計	8,209	3,133
投資その他の資産		
投資有価証券	516,063	561,418
関係会社株式	10,000	10,000
その他	37,278	37,436
貸倒引当金	△20,143	△17,673
投資その他の資産合計	543,199	591,181
固定資産合計	556,860	598,621
資産合計	6,250,500	6,453,516
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,421,023	1,533,940
短期借入金	1,515,044	1,582,235
未払法人税等	215,903	73,644
賞与引当金	31,420	20,260
その他	289,371	269,274
流動負債合計	3,472,763	3,479,355
固定負債		
長期借入金	73,020	115,680
繰延税金負債	10,547	35,356
退職給付に係る負債	1,750	1,889
固定負債合計	85,317	152,925
負債合計	3,558,080	3,632,280
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	440,096	440,096
資本剰余金	346,096	346,096
利益剰余金	1,893,184	1,986,505
自己株式	△65,317	△66,734
株主資本合計	2,614,059	2,705,962
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	85,955	117,916
為替換算調整勘定	△9,729	△4,796
その他の包括利益累計額合計	76,226	113,120
新株予約権	2,133	2,152
非支配株主持分	0	0
純資産合計	2,692,419	2,821,235
負債純資産合計	6,250,500	6,453,516

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	613,299	748,304
売上原価	112,919	201,291
売上総利益	500,380	547,013
販売費及び一般管理費	271,458	289,732
営業利益	228,921	257,280
営業外収益		
受取利息	140	41
為替差益	—	1,848
仕入割引	1,336	963
その他	1,081	2,819
営業外収益合計	2,559	5,673
営業外費用		
支払利息	1,351	2,454
為替差損	59	—
投資事業組合運用損	424	710
その他	248	2
営業外費用合計	2,084	3,167
経常利益	229,395	259,786
特別損失		
減損損失	—	6,012
関係会社清算損	—	4,667
特別損失合計	—	10,679
税金等調整前四半期純利益	229,395	249,106
法人税等	76,052	78,643
四半期純利益	153,342	170,462
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	153,342	170,462

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	153,342	170,462
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,742	31,960
為替換算調整勘定	3,788	4,933
その他の包括利益合計	5,531	36,893
四半期包括利益	158,873	207,356
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	158,873	207,356
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしました。

なお、本適用指針の適用による当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表に与える影響額については、軽微です。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	成果報酬型 広告サービス 事業	検索連動型 広告代行業業	中古建設機械 マーケットプレ イス関連事業	計		
売上高						
日本	407,754	9,532	27,543	444,830	24,184	469,014
中国	—	—	—	—	44,595	44,595
バングラデシュ	—	—	62,920	62,920	—	62,920
アラブ首長国連邦	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	12,490	12,490	24,278	36,768
顧客との契約 から生じる収益	407,754	9,532	102,953	520,240	93,058	613,299
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	407,754	9,532	102,953	520,240	93,058	613,299
計	407,754	9,532	102,953	520,240	93,058	613,299
セグメント利益	407,754	9,532	23,812	441,099	59,281	500,380

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、媒体運営事業、コンテンツ販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	成果報酬型 広告サービス 事業	検索連動型 広告代行業業	中古建設機械 マーケットプレ イス関連事業	計		
売上高						
日本	421,362	33,495	105,332	560,189	35,303	595,493
中国	8,899	—	—	8,899	31,572	40,471
バングラデシュ	—	—	16,113	16,113	—	16,113
アラブ首長国連邦	—	—	50,610	50,610	—	50,610
その他	10,589	—	24,050	34,640	10,974	45,615
顧客との契約 から生じる収益	440,852	33,495	196,107	670,454	77,850	748,304
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	440,852	33,495	196,107	670,454	77,850	748,304
計	440,852	33,495	196,107	670,454	77,850	748,304
セグメント利益	440,852	33,495	25,125	499,472	47,540	547,013

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、媒体運営事業、コンテンツ販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「その他事業」において、当初予定していた収益が見込めないため、一部の資産について減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において6,012千円でございます。